

キャラクター名
小野寺鳴(おのでら・めい)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	不良高校生	カヴァー	高校生
	ハヌマーン					
オプション			年齢			性別
覚醒	憤怒	衝動	闘争		初期侵食率	37 %
出自	姉妹	経験	トラウマ		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	1	2			5	行動値	25
感覚	2	0	1			3	(非装備時)	25
精神	2	0	0			2	戦闘移動	30
社会	2	0	0			2	全力移動	60

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《エアロドライブ》	白兵	5r+2		8		データ変更でHP-5点。
	白兵	5r+2		9		↑100%未満時、←100%以上時。
【破碎する打拳音】	白兵	11r+2		1D+8		①+⑥。(スピードスター)を宣言していた場合、攻撃力+〔行動値〕。
(クラック・ビート)	白兵	12r+2		1D+9		↑100%未満時、←100%以上時。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂好きの友人	
思い出の一品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
【Dロイス】神速の担い手P		N		
【Dロイス】破壊者P		N		
小野寺律	P 大切	N 不安		
	P 好奇心	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
C：ハヌマーン	2	2	メジャー					
効果： クリティカル値を-LVする(下限値7)。								
スピードスター	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	D0イス	
効果： ラウンドの間、次にあなたが行なう攻撃の攻撃力+〔あなたの〔行動値〕〕する。ラウンドの間、あらゆるリアクションを行なえない。1シーンに1回まで。								
先手必勝	4		常時	至近	自身	自動		
効果： 【行動値】を+[LV*3]する。侵蝕率基本値が+4される。								
エアロドライブ	3	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果： シーンの間、素手のデータを変更する(データは下部参照)。この武器を使用した攻撃を行なった場合、5点のHPを消費する。								
電光石火	5	3	メ/リ					
効果： このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[LV+1]個する。ただし、あなたは1D点のHPを失う。								
クイックダッシュ	1	4	セットアップ	至近	自身	自動		
効果： 戦闘移動を行なう。1シナリオにLV回まで。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「小野寺鳴。よろしく頼むぜ！」
「姉ちゃんの音楽はすげえんだぜ、色んな人を笑顔にできるんだ。……俺の音楽とは、大違い」
「その身によおおおおくく刻み付けてやる！俺の——俺だけの音(ビート)を！」

N市南高校に通う高校2年生。
明るく裏表のない、愚直ともとれるほど真っ直ぐな性格をしている。
男女問わず友人が多く、あと何かともてる。
音楽が好きでジャンルを問わず何でも聴く上、見た目や言動に似合わず実はピアノが上手い。
音楽教師をしている姉があり、きょうだい仲はかなり良好な模様。

中学生の頃、姉が出場するピアノコンクールの会場に二人で向かっていたところをジャームに襲われ、姉は鳴を庇って瀕死の大怪我を負う。
目の前で繰り広げられたその行為に鳴は激しい怒りを覚え、気がつけばその怒りからオーヴァードとして覚醒し、ジャームを倒していたという。
姉は一命を取り留め今も健在だが、腕に軽度の後遺症が残ったためピアニストになるという夢は絶たれている。
そのことに責任を感じた鳴はしばらく自暴自棄に陥り、近場の不良達と喧嘩に明け暮れる日々を送っていた。
そんな中、姉の「鳴がいつまでも責任を感じる必要はない」「その拳は、誰かを傷つけるためじゃなく守るために振るいなさい」という言葉で立ち直り、以降はUGNに協力するオーヴァードとして活動している。

素早さを生かしたステゴロ戦闘を持ち味とする。
また、普段から音楽に触れていることから、戦闘中に独特のリズムを刻む節がある。
曰く、「拳をぶつけるのは、ビートを刻むのと同じことだ」らしい。